



「和解の務め」音信

Ministry of Reconciliation in South Africa

(19-4)

Oct. 2019

金煥・朴貞玉

「神はキリストによって私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました」(Ⅱコリント 5:18)

二〇一九年も9月の下旬になりました。皆さまの変わらないご愛とお祈りに感謝いたします。三位一体の神の御恵みが皆さまに満ち溢れますように。しもべたちは、南アフリカに無事に着き第2期目の宣教を始めました。こちらは、新春を迎え、恵みの雨も降り注いでいます。

1. ビザの更新

5月31日で満期になるポランティアビザを更新するために東京に戻り、南アフリカ共和国の領事館の案内を受けて7月29日にすべての書類を備えて申請書を提出しました。そして丁度3週間後、8月19日に、領事館からビザが下りたとの連絡を受けました。私はこれを先ず宣教を続けなさいという神さまからのご承諾として受け止めました。背後でお祈りをして下さった皆さまと諸教会に感謝いたします。

皆さまの上に三位一体の神さまの御恵みが豊かに臨まれることをお祈りいたします。

南アフリカにて
主の小さいしもべたち、金煥・朴貞玉より

2. パウロ宣教教会の全体修養会

7月15日から19日まで韓国の京畿道安城という所にあるソウル愛の教会の修養館で、パウロ宣教教会の全体修養会が開催されました。私たちもそこに出席しました。全世界から集まった宣教師たちと久しぶりの再会を喜び、講師たちの良く準備された講演から学びました。本場に貴重な研修の時を過ごすことができました。小生としては、パウロ宣教教会で強調している、福音主義的な観点からの「修道士的な宣教師」の理念に同感しました。自らの宣教の地でそれを実践することが一つの使命として私の心に迫って来ました。



パウロ宣教教会の全体修養会

3. 第2期宣教派遣式

ビザ更新の後、小生たちは静かに任地に行こうとしましたが、教団の国外宣教委員会から再派遣式を行ってから行くことをお勧めいただきました。そこで9月1日午後5:30から派遣式が行われ、小生たちはもう一度、自分たちを主にお捧げし、主の御旨ならばアフリカの地で一粒の麦になることを新たに決意する時となりました。



第2期の派遣式で



派遣のための祝福のお祈り

4. 祈りの課題

祈祷課題を申し上げますので、皆様の力強い執成しのお祈りをお願い致します。

- ①第2期宣教、「和解の務め」が主の御恵みの中で、主の御心を成し遂げることができるよう。そしてこの働きが主の御力で成すものとなるように。
- ②ポチエフストロムで貧しい青少年たちのための「国民高等学校」を順調に開設できるように。そのために必要な霊的、人材的、財政的な備えができるように。
- ③「修道士的な宣教師」の理念に基づき、敬虔の訓練、自立活動、宣教的奉仕に献身した人々が集まり、アフリカの福音化を目指す奉仕をすることができるよう。そして共に訓練を受け、共に働くことのできるミッション・センターを準備できるように。
- ④私たち夫婦の健康と聖霊充滿のために。

